

CONTENTS

渋谷は今、駅中心にあたらしいまちづくりが始まっています。shibuya1000は、そんな渋谷の風景を毎年見つめ直し続けてきました。第4回目の今年は「渋谷に関心をもつ大学スタジオ」+「渋谷を愛する写真家」+「渋谷に暮らす人々」の混成13チームが「風景・人」の写真から、物語を構成します。



02 BEYOND ROUTE 246 桜丘WALKING

昭和女子大学友田博通研究室
桜丘町会 / 駅前共栄会
岩本大輔、宮城良枝、磯上仁美

桜丘町は渋谷駅から至近。でも、246通りと高速道路に阻まれ、不快な歩道橋を越えなければならない。そのため、知名度が無く人が集客にも事欠く。しかし、桜丘を知る人には「静かで文化的」、渋谷の中では「二子玉川・自由が丘・代官山・六本木」にイメージが近くてもいい町と言えます。246通りを越えて桜丘に行くきっかけを作ればとこのウォーキング大会を企画しました。参加者は、町の方々に自慢の町を丁寧にご案内いただき、広報大使に任命されました。



04 MOYAIさんが行く

昭和女子大学杉浦久子研究室 (suginoco) + 杉浦友哉
渋谷道玄坂商店街振興組合
鈴木一成

いつもひっそりと渋谷を見守り続ける「MOYAIさん」。「MOYAIさん」は時おり、そぞろ歩いている。まだ知らない渋谷の魅力を再発見したい。今日はDeepな渋谷へ。大人の渋谷、カルチャーエリアである道玄坂、東急本店周辺。約100シーンの中で「MOYAIさん」は人と触れ合い、「渋谷」を満喫します。



06 上を向いて歩こう from 渋谷公園通り

昭和女子大学金子友美研究室 + CLIP
渋谷公園通商店街
鈴木一成、宮城良枝、Katja

私たちは渋谷公園通りから人文字によってメッセージを発信します。渋谷にはその地形によって特徴ある形の街角が多数あります。そこは人と人・モノ・情報の交差点で渋谷の特長を表すもののひとつです。そこからメッセージを発信することは渋谷からメッセージを発することの象徴となります。「個人」のメッセージと力を人文字というイベントで束ねることによって、強力なメッセージを発信することができると思っています。



08 ネコは commons in シブヤ遺産

東京大学生産技術研究所村松伸研究室
渋谷区のネコ達
磯上仁美、岩本大輔、坂田友哉

シブヤでひっそりと暮らす路上のネコ達とネコに魅了された人達に焦点をあてて。毎日、人で溢れるシブヤには、よく観察するとネコも多く暮らしている。人々と触れ合うことで、ネコは生き、ネコと触れ合うことで、人々は予期せぬ人との繋がりを得る。つまり、ネコは、シブヤの人々を繋ぐ、みんなの財産 (= commons) なのだ。そんな commons としてのネコを堪能あれ。



10 gAP — 渋谷に潜む多様なギャップを活かす

東京理科大学小林重敬研究室 + 川口俊英研究室
桜丘町・渋谷さくら青樹の会 / 渋谷町・しぶやコンシェルジュの会
磯上仁美、さわきみのり

渋谷には様々な「顔」があります。若者のまちという既成イメージが強いですが、246号線を越えた桜丘町、雑司が谷のイメージとは異なる社会的ギャップとも言える大きなgAPが存在します。そこでは「渋谷の古きよき文化」が生活しているのぬくもりと出会えます。ハチ公を高さの基準0に定め、撮影場所の高低差を数字として写しこみ、社会的ギャップと高低差の物理的ギャップなどの二重のギャップの中にある生き生きとした生活を表現します。



12 I'm full / ファインディング

日本写真芸術専門学校 SHATO

I'm full 渋谷の街には数えきれないほどの二人組が行き交う。モデルのような自慢の彼女も、指輪がなくなった旦那も、どちらも変わらないかけがえない存在。どんなスイーツよりも甘い微笑みたちをどうぞ堪能あれ。ファインディング 流行の最先端を走る街、渋谷。多様な目的を持った人々が集い、多様な文化を創っていくことで、渋谷の街が形成されている。渋谷に人が染められているのか。はまたた人が渋谷を染めあげているのか。渋谷の未来を切り取る。



01 シブヤのタマゴ — シブヤのカタチ 4.0 —

慶應義塾大学小林博人研究室
渋谷宮益商店街振興組合 / 渋谷駅東口街区まちづくり検討会
横濱光太郎、高島歩

専門のスキルを獲得しようとする渋谷に通う、エネルギーあふれる若者たち。そのジャンルは実に多岐にわたる。彼らは次世代を担う専門家の「タマゴ」であり、プロとして既に活動を始めている「プチプロ」でもあります。渋谷一丁目・二丁目までスキルを学ぶ「タマゴ」たちに、街中に出て写真を撮らせてもらいました。毎日渋谷で多くの時間を過ごす「タマゴ」たちは、「流動的」な渋谷の一時を語り手たちは、また異なった目線で街と関わっています。



03 渋谷駅 (番人と証人)

昭和女子大学田村圭介研究室
渋谷区立白根郷土資料館 / 渋谷地下商店街振興組合
岩本大輔、宮城良枝、日本写真芸術専門学校

あなたは、渋谷駅を知っていますか？ 渋谷駅が誕生した127年前、乗降者はいませんでした。現在、一日乗降者数は約280万人です。そんな渋谷駅の「現在」と「歴史」をポートレートで表現しました。「現在」は、渋谷駅を日々支えている「番人」たちに、「歴史」は渋谷駅のお古写真に写りこんだ「証人」たちに、スポットをあててみました。あなたが、未来の渋谷駅の証人です。



05 渋谷中央街アーチビジョン計画

昭和女子大学藤澤忠盛研究室 + スペースカウボーイ 中山定雄
渋谷中央街
キニー、鈴木貞一

ポートレート制作や、渋谷駅西口に設けられた渋谷中央街のオーロラビジョンに映像制作を行いました。ここでは渋谷においても昭和30年代を彷彿させる、昔ながらのノスタルジーもある飲食店やデザインに特化した前衛インテリアを堪能できる飲食店もある地区です。飲食店の店長、店員のみならず活気あふれるその勇姿を表現しています。



07 渋谷 Shibu-san — made in Shibuya products

昭和女子大学橋倫央研究室
渋谷中央街
宮城良枝

「渋谷」とは渋谷で働く職人と昭和女子大学でコラボレーションを行い、職人の技を活かした100%渋谷生まれの新たな製品を生み出すことを目標にしたプロジェクトです。今回のShibuya1000では職人探しの第一歩として渋谷中央街で働く「人」「手」「道具」をキーワードにポートレートを作成していきます。普段あまり意識しない、渋谷で働く人たちの仕事をしている「姿」、巧みな「技」をぜひご覧ください。



09 三業通りプロジェクト

東京電機大学岩城和哉研究室
神泉・円山界隈のみなさん
さわきみのり

「三業通り」をご存じですか？ 渋谷の地図を眺めていると優美な曲線を描く1本の通りが伸びています。道玄坂上から旧山手通りへと抜ける「三業通り」です。かつて芸妓屋敷、待合、料亭の営業が許可された三業地（花街）であった神泉・円山界隈をくわくわくと貫く風趣漂う通り。その魅力を顕在化すべく「三業通りプロジェクト」始動。第1弾は写真家さわきみのりによる「三業通り」で働く人々やそこを行き交う人々のポートレートです。



11 宮益ザ・カラー

東京理科大学安原幹研究室 + SALHAUS
渋谷宮益商店街振興組合 / 渋谷駅東口街区まちづくり検討会
磯上仁美、岩本大輔

私たちは渋谷駅構内から宮益坂へつながる地下の無機質なコンコース空間を100の色で彩ります。宮益坂にはその街に親しみを持ち、そこで生活する人が自分の店の前などに花を植えるというイベントがあります。宮益坂には、花だけでなく、人や建物、構物に看板といったさまざまな色があります。そこで生活する人々や街の色に内在する「個性という花」で、花を植えるようにコンコース空間を彩り、宮益坂の豊かな色彩を表現します。



13 渋谷の七情六欲

文化服装学院

渋谷を人間として捉え、街の七情六欲を文化服装学院ならではのファッション写真として表現する。七情：喜一喜び / 怒一怒り / 憂一心配ごと / 思一考え / 悲一悲しみ / 恐一恐れ / 驚一驚き 六欲：食一食べる / 色一異性への情 / 財一金銭欲 / 物欲 / 丁一職業 / 権一権力 / 貴一地位

主催 shibuya1000 実行委員会 東京急行電鉄株式会社 / 東京メトロ
共催
会場 渋谷駅地下コンコース内 他
開催時間 始発から終電まで 入場無料
http://www.shibuya1000.jp

shibuya1000_004
「渋谷の13の物語と1000の顔」展 2012.3.3 [SAT] - 3.11 [SUN]



shibuya 1000

「渋谷の13の物語と1000の顔」展

3.3 [SAT]
3.11 [SUN]

2012

- 名称 shibuya1000_004
- 開催期間 2012年3月3日(土)～3月11日(日)
- 開催時間 始発から終電まで(最終日は18:00まで)
- 主催 shibuya1000実行委員会
- 共催 東京急行電鉄株式会社/東京メトロ
- 会場 渋谷駅地下コンコース内 他
- 入場料 無料

- 協賛 東急不動産株式会社/東日本旅客鉄道株式会社/鹿島建設株式会社/清水建設株式会社/東急バス株式会社/株式会社日建設計/株式会社日本設計/株式会社プラスコーポレーション/三井不動産株式会社/三菱地所株式会社/NHK営業サービス株式会社/大成建設株式会社/日本経済大学/理工事務機株式会社

- 後援 国土交通省/東京都/渋谷区/独立行政法人都市再生機構/財団法人民間都市開発推進機構/公益社団法人土木学会/社団法人日本建築学会/公益社団法人日本都市計画学会/社団法人日本建築家協会/特定非営利活動法人日本都市計画協会/特定非営利活動法人渋谷・青山環境景観整備機構/東京商工会議所渋谷支部

- 協力 日本工学院専門学校

- サポーター 株式会社ケン・コーポレーション
株式会社ハシフィックコンサルタンツ

- 実行委員会
実行委員長 内藤廣 (建築家・東京大学名誉教授)
副委員長 井口典夫 (青山学院大学
社会学連携研究センター所長・教授)
大西賢治 (渋谷道玄坂商店街振興組合理事長)
岸井隆幸 (日本大学工学部教授)
- 委員 ◎川添善行 (東京大学生産技術研究所講師)
小林博人 (慶應義塾大学大学院准教授)
友田博通 (昭和女子大学教授)
川上秀人 (NHKエンタープライズ副部長)
大友教夫 (東京急行電鉄株式会社課長)
白子慎介 (東京地下鉄株式会社課長)
鈴木万寿夫 (東日本旅客鉄道株式会社課長)
(◎代表幹事)

- 事務局 株式会社アバンソシエイツ (代表:打林國雄)
(以上、順不同)



コンテンツディレクション: 岩井桃子
会場設計: SALHAUS
広報・ウェブ制作: flick studio (高木伸哉・近藤佑子) / mosaki (田中元子)
広報・ウェブデザイン: 新目忍

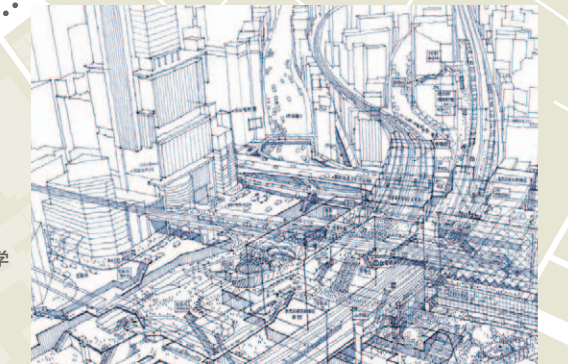
shibuya1000_004

撮影地 MAP

今の渋谷を語る「人と風景」
13のストーリーマップ

■ 特別展示「渋谷駅解体」——会場MAP 14

田中智之 (熊本大学 / TASS 建築研究所)
1日300万人以上が乗降する巨大ターミナル「渋谷駅」。ホームからコンコース、スクランブル交差点や歩道橋に至るまで、渋谷という谷底に集積し絡み合う「動線」を全て抽出し、その関係を可視化することに挑みました。



■ 関連企画 タイムアウト東京 www.timeout.jp

渋谷をもっと楽しくする。渋谷限定GPS対応SNS「渋谷アプリ」ができました。タイムアウト東京「渋谷でしかできない1000のこと」を収録。渋谷の街歩きに「探索」と「発見」を提供します。

